

2016年9月16日

京都府知事 山田啓二 様

## 自衛隊福知山駐屯地射撃場における 米軍実弾射撃訓練計画に抗議し、中止を強く求める

日本共産党京都府会議員団  
団長 前窪義由紀

本日、党府議団の調査により、京丹後市経ヶ岬にある米軍レーダー基地所属の軍人軍属による実弾射撃訓練が福知山市の自衛隊射撃場で行われる計画が判明した。

議員団の聞き取りで、次のことが明らかになった。

- ・ 6月初旬、近畿中部防衛局から「米軍Xバンドレーダー基地の警備にあたっている軍人・軍属の射撃訓練を福知山の自衛隊射撃場でやりたい」との話が出た。
- ・ 8月17日、近畿中部防衛局からさらに以下のように府に連絡があった。  
「警備にあたっている軍人・軍属の射撃訓練を福知山で実施したい。警備にあたっている軍人・軍属の実弾訓練は義務付けられている。現在は東富士演習場まで行って訓練している。遠距離であり、その間基地の警備が手薄になる。経ヶ岬から通える近くで訓練したい。福知山の自衛隊に東富士と同様の射撃訓練施設がありそこを使いたい。年間20日程。経ヶ岬からバスで通う」

以上のような事実は、議会をはじめ府民にはまったく知らされていないことである。米軍が自衛隊基地を使用できるのは日米地位協定で「共同利用施設」と指定された箇所であり、自衛隊福知山駐屯地は指定されておらず、「日米合同委員会」を開催し、新たな指定が必要となる。これを認めれば、すべての自衛隊基地を米軍が自由に使えるという、際限のない日米軍事協力の拡大につながり、絶対に許されない。

また、経ヶ岬の米軍レーダー基地には多数の軍属（警備会社）が配備されている。その軍属も自衛隊の施設で実弾訓練を行うのである。これらは、府民の命と安全を脅かすものであり不安は一層広がる。

わが党議員団は、知事に対し、この実弾訓練計画に強く抗議し、中止することを政府と米軍に申し入れることを強く求めるものである。